

第9回太平洋・島サミット 事業実施基本方針

三重県

1 基本的な考え方

G7伊勢志摩サミットから5年の節目に開催される「第9回太平洋・島サミット」は、G7伊勢志摩サミットのレガシーを生かしたおもてなしや三重の魅力発信を行うことで、三重県のブランドイメージを一段と確立し、世界にアピールできる絶好の機会です。この機会に、三重県ならではの美しい自然、豊かな文化・伝統、先端技術などを強力に発信していく必要があります。

また、太平洋島しょ国の人々は、ふれあいを大切にする国民性であり、太平洋・島サミットをきっかけに、太平洋島しょ国の人々と様々な切り口での交流事業を実施することで、次代を担う子ども・若者が国際理解を深め、国際色豊かな人材に育つことに繋がります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域経済が疲弊する中、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、新しいPR手法も取り入れながら、太平洋・島サミットを成功させることで、地域経済の活性化に繋がるとともに、新たな時代の国際観光地としての地位を確固たるものとしなければなりません。

この推進会議では、太平洋・島サミットを成功させるため、以下の4つの基本方針に基づき、太平洋・島サミット開催に向けた全県的な取組を展開します。

2 基本方針

(1) サミット開催気運の醸成

SNSによる情報発信や交流事業などにより、サミット開催気運を盛り上げ、県民、関係機関、市町など、県を挙げてオール三重で島しょ国首脳のご来県を歓迎します。

(2) 三重の魅力発信と地域経済回復

SNSによる情報発信やメディアによる視察事業などにより、三重の歴史や文化、「食」などの豊富な資源を生かした情報発信を行い、新型コロナウイルス感染症により疲弊した地域経済回復の一助に繋がります。

(3) 島しょ国との交流の発展

サミットを契機に、三重県と島しょ国の共通の課題についての意見交換や、次世代交流などに取り組み、県内の様々な主体がこれまで培ってきた島しょ国との交流をさらに深めます。

(4) 国際会議に関するブランド力向上

G7伊勢志摩サミットのレガシーを最大限に活用し、安全・安心なサミットを開催するとともに、その情報を国内外に発信することで、三重県の国際会議に関するブランド力を向上させます。